

# 高松市子ども・子育て支援推進計画の見直しについて

## 教育・保育

認定区分	対象者
1号認定	満3歳以上で教育を希望している子ども
2号認定	満3歳以上で保育所・認定こども園での保育を希望することも又は満3歳以上で幼稚園の利用を希望することも
3号認定	満3歳未満で保育所・認定こども園等での保育を希望している子ども



### 【作業の手引き】

平成28年4月1日時点の支給認定区分ごとの子どもの実績値が、計画における量の見込みよりも**10%以上かい離がある場合**、原則として見直しが必要

「教育・保育」の見直し

## 地域子ども・子育て支援事業

- ①利用者支援事業
- ②時間外保育事業
- ③放課後児童健全育成事業
- ④子育て短期支援事業
- ⑤乳児家庭全戸訪問事業
- ⑥養育支援訪問事業
- ⑦地域子育て支援拠点事業
- ⑧一時預かり事業
- ⑨病児・病後児保育事業
- ⑩ファミリー・サポート・センター事業
- ⑪妊婦健康診査事業
- ⑫実費徴収に係る補足給付を行う事業
- ⑬多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業



### 【作業の手引き】

事業の実施状況や利用状況等に照らし、**必要に応じて見直し**を行う



当初計画の確保の内容で対応が不可能となる事業について見直しを行う

「放課後児童健全育成事業」の見直し

〔 入会希望児童数（量の見込み）が当初の計画を大きく上回ったことにより、確保の内容の見直しが必要 〕

# 教育・保育の量の見込みと確保方策

## 「教育・保育の量の見込みと確保方策」

市全域

【女性就業率：中位】

量の見込み  
算出方法

①H24→H29Aの実績に基づき推計した人口と、その人口に占める入所申込率により算出  
 ②入所申込率は、過去2年間の伸び率等を勘案し、推計。1・2歳の入所申込率は、28年度末で約5.2% ※ 34年度末には約6.0%  
 ③「保育の量」は、子育て支援事業計画等に関する中間報告の見込のための考え方（作業の手引書）【改訂版】「H28.9  
 ・多くの7月以降2年度末までに待機児童を解消し、34年度末までに女性就業率80%に対応できる受け皿確保を目標  
 ・全国的には、女性就業率が80%となった場合、1・2歳児の保育利用率は60%程度になると推計される

※ 資料1 - 2 参照

### 【計画】

※ 各数値は年度末のもの (単位：人)

年度	H27					H28					H29					H30					H31						
	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月		
量の見込み①	4,483	2,001	5,378	1,221	3,920	4,412	1,969	5,292	1,218	3,925	4,426	1,975	5,309	1,216	3,910	4,426	1,982	5,310	1,207	3,899	4,425	1,974	5,308	1,195	3,881		
保育の量②	特定児童 保育施設	4,296		5,354	944	3,134	5,046		5,580	1,026	3,271	5,246		5,821	1,145	3,489	5,266		5,881	1,145	3,502	5,276		5,871	1,145	3,502	
	認可外 保育施設	5,010					3,890				3,500					3,320					3,320						
	特定児童 保育事業				7	36				30	109				30	109					30	109				30	109
	認可外 保育事業																										
	合計	2,892	218	△178	△266	2,895	2,895	515	△65	△194	2,945	730	36	36	2,178	796	45	63	2,167	780	57	61					
確保方策	・認定こども園（0歳児保育）：2か所 ・認定こども園（0歳児保育）：1か所 ・小規模保育事業：2か所 ・事業所内保育事業：1か所					・認定こども園（0歳児保育）：2か所 ・認定こども園（0歳児保育）：3か所 ・小規模保育事業：8か所 ・事業所内保育事業：1か所 ・認定こども園（0歳児保育）：1か所 ・認定こども園（0歳児保育）：2か所（認定100人程度）					・認定こども園（0歳児保育）：2か所 ・認定こども園（0歳児保育）：1か所 ・小規模保育事業：8か所 ・事業所：3か所（認定100人程度） ・事業所：5か所（3号認定100人程度）					・認定こども園（0歳児保育）：2か所											

※ 参考

### 【実績】

### 【推計】

### 【推計】

(単位：人)

年度	H27					H28					H29					H30					H31					
	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	1月	2月	3月	4月	5月	
量の見込み①	5,808	596	5,296	1,505	3,798	5,611	589	5,397	1,529	3,899	5,574	582	5,834	1,507	3,909	5,522	578	5,710	1,518	4,008	5,489	576	5,767	1,491	3,904	
保育の量②	特定児童 保育施設	2,655		5,120	998	3,264	2,594		5,196	935	3,307	5,057		5,616	990	3,394	5,962		5,673	1,026	3,593	5,962		5,673	1,026	3,593
	認可外 保育施設	3,749					3,006				3,747					2,892					2,892					
	特定児童 保育事業				11	37			2	28	70			43	109					60	144			112	255	
	認可外 保育事業								134	38	327			267	129	535			227	303	782			227	303	782
	合計	△43	△462	△203	0	△66	△228	△196	2,666	240	△346	128	2,764	390	△119	511	2,760	333	△90	726	2,890	399	29	866	3,206	546
確保方策	・認定こども園（0歳児保育）：2か所 ・認定こども園（0歳児保育）：1か所 ・小規模保育事業：2か所 ・事業所内保育事業：1か所 ・認可外保育事業の増設 2号認定、3号認定（認定100人）、1号認定20人					・認定こども園（0歳児保育）：2か所 ・認定こども園（0歳児保育）：2か所 ・小規模保育事業：3か所 ・事業所：1か所 ・事業所内保育事業：2か所 ・認可外保育事業：1か所 ・小規模保育事業：1か所 ・小規模保育事業：1か所 ・小規模保育事業：0か所					・認定こども園（0歳児保育）：2か所 ・認定こども園（0歳児保育）：1か所 ・小規模保育事業：2か所 ・事業所：1か所 ・認可外保育事業：1か所 ・小規模保育事業：4か所 ・事業所内保育事業：2か所					・小規模保育事業：5か所										

※1は、私的保育を念んた人数から、要費分（認可保育施設に入所できず待機となったが、認可外保育施設には入所できていない人数）を抜いたものである。

# 2号・3号の当初計画と実績（推計）との差

- ※ 各数値は年度末のもの
- ※ 2号は「学校教育希望強」を除く
- ※ H32は当初計画外の期間であるため、当初計画①、②はH31の数値を記載

## 1 量の見込み

実績 ←→ 推計

(単位：人)

年度	H27			H28			H29			H30			H31			H32			
	区分	2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号	
			0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳
当初計画①	5,378	1,221	3,920	5,292	1,218	3,925	5,309	1,216	3,910	5,310	1,207	3,899	5,308	1,195	3,881	5,308	1,195	3,881	
見直し後 (実際の需要量) ①'	5,296	1,505	3,798	5,397	1,529	3,899	5,634	1,507	3,909	5,710	1,518	4,008	5,767	1,491	3,904	5,784	1,465	3,855	
差 (①'-①)	△ 82	284	△ 122	105	311	△ 26	325	291	△ 1	400	311	109	459	296	23	476	270	△ 26	

## 2 確保の内容

実績 ←→ 推計

(単位：人)

年度	H27			H28			H29			H30			H31			H32			
	区分	2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号		2号	3号	
			0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳		0歳	1・2歳			
当初計画②	5,591	1,043	3,554	5,807	1,133	3,731	6,048	1,252	3,949	6,108	1,252	3,962	6,098	1,252	3,962	6,098	1,252	3,962	
見直し後 (実際の確保量) ②'	5,253	1,043	3,595	5,332	1,001	3,704	5,883	1,162	4,038	6,100	1,389	4,519	6,100	1,441	4,630	6,100	1,471	4,695	
差 (②'-②)	△ 338	0	41	△ 475	△ 132	△ 27	△ 165	△ 90	89	△ 8	137	557	2	189	668	2	219	733	

## 3 比較

(単位：人)

差 (②'-①')	△ 43	△ 462	△ 203	△ 65	△ 528	△ 195	249	△ 345	129	390	△ 129	511	333	△ 50	726	316	6	840
-----------	------	-------	-------	------	-------	-------	-----	-------	-----	-----	-------	-----	-----	------	-----	-----	---	-----

※ 資料1-2の「量の見込み」は、保育を必要としているもの全ての数値であり、私的待機(特定の保育所等を1か所しか希望しない場合等)のほか、認可外保育施設のみを希望しているものも含んでいる。これらは待機児童数を算定する際には除外している。

また、「確保の内容」の数値は定員数であり、実際の入所数とは異なることから、計画における「差」と実際の待機児童数は一致しない。

## 4 まとめ

「量の見込み」については、女性の社会進出に伴い、共働き世帯が増加していることなどにより、2・3号が計画を上回っており、今後もこの傾向が続くことが見込まれる。

「確保の内容」については、「認定こども園への移行」や「保育所等の創設」などの公募のほか、企業主導型保育事業などにより、3号について、平成30年度では計画を694人(0歳：137人、1・2歳：557人)上回る定員を確保できる見込みである。

しかし、0歳において、「量の見込み」の想定以上の増加に対応できるだけの定員を確保することができず、不足が生じることとなった。

引き続き、30、31年度において定員の確保に努めることにより、32年度には、各年齢において「量の見込み」を上回る定員を確保できる見込みであることから、待機児童解消の目標年次を国と同じ32年度とするものである。

# 放課後児童健全育成事業の量の見込みと確保方策

## 1 量の見込みの算出方法

次のデータを使用し、下記の計算式により校区ごとの量の見込みを推計

- (1) 平成29年5月1日現在の登録児童・待機児童数
- (2) 潜在的待機児童数※
- (3) 29年度から31年度までの児童数の伸び率

**校区の入会希望児童数（量の見込み）**

**=（入会児童数＋待機児童数＋潜在的待機児童数）×児童数の伸び率**

※潜在的待機児童数の推計について（国が集計した全国の登録児童・待機児童数割合を利用）

高松市の公立放課後児童クラブの状況（H29.5.1現在）

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	その他	計
入会児童数	1,294	1,141	743	341	94	18	0	3,631
待機児童数	9	33	113	74	8	6	0	243
計	1,303	1,174	856	415	102	24	0	3,874
割合	33.6%	30.3%	22.1%	10.7%	2.6%	0.6%	0.0%	100.0%

※10校区、5・6年生等入会制限あり

全国の放課後児童クラブの状況（平成28年、国集計）

区分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	その他	計
入会児童数	355,986	315,425	241,432	109,544	47,240	22,828	630	1,093,085
待機児童数	3,072	2,524	4,361	5,096	1,701	449	0	17,203
計	359,058	317,949	245,793	114,640	48,941	23,277	630	1,110,288
割合	32.3%	28.6%	22.1%	10.3%	4.4%	2.1%	0.1%	100.0%

本市では、10校区で5・6年生の入会制限を行っているなど、5・6年生において潜在的待機児童が見込まれることから、全国の5・6年生の割合4.4%、2.1%を用いて、本市全校区における入会希望者数を見込んだ。

（参考：高松市の入会率が9割未満の13クラブ（潜在的待機がない）の5,6年生の割合 5年生4.5% 6年生0.7%）

また、3・4年生についても、下の学年で待機児童が出ている校区は、同様の方法で入会希望者数を見込んだ。

## 2 確保方策

推計した校区ごとの量の見込みに対応するため、公設による整備を基本とし、公設での対応が難しい地区については、民間事業者への運営費補助等により、新規受入枠の拡大を推進する。

# 放課後児童健全育成事業の量の見込みと確保方策

## 量の見込みと確保方策（全市）

（単位：人、教室）

区域	全市	平成25年度 （実績）	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	平成31年度末
当初計画	①量の見込み(入会希望児童数)		4,234 人	4,259 人	4,214 人	4,173 人	4,134 人
	②確保量(入会児童数)	3,097 人	3,731 人	4,007 人	4,149 人	4,152 人	4,134 人
	確保の内容 (実施施設数)	82 教室 54 か所	98 教室 公立 4 教室開設 民間 2 教室開設	106 教室 公立 6 教室開設 民間 2 教室開設	113 教室 公立 6 教室開設 民間 1 教室開設	117 教室 公立 4 教室開設 民間 0 教室開設	122 教室 公立 5 教室開設 民間 0 教室開設
	③差(②-①)(待機児童数)		▲ 503 人	▲ 252 人	▲ 65 人	▲ 21 人	0 人



実績及び見直し後の計画	実績		見直し後の計画（案）				
	①'量の見込み(入会希望児童数)		4,088 人	4,406 人	4,687 人	4,659 人	4,645 人
	量の見込み(当初計画との差) ①'-①		▲ 146 人	147 人	473 人	486 人	511 人
	②'確保量(入会児童数)	3,097 人	3,808 人	4,137 人	4,398 人	4,542 人	4,645 人
確保の内容 (実施施設数)	82 教室 54 か所	100 教室 公立 7 教室開設 民間 1 教室開設	107 教室 公立 5 教室開設 民間 2 教室開設	114 教室 公立 4 教室開設 民間 3 教室開設	121 教室 公立 6 教室開設 民間 1 教室開設	129 教室 公立 6 教室開設 民間 2 教室開設	
③'差(②'-①')(待機児童数)		▲ 280 人	▲ 269 人	▲ 289 人	▲ 117 人	0 人	

※量の見込み、確保量には、障がい学童入会児童数を含む

# 計画見直しに係るスケジュール

29年度	11月	12月	1月	2月	3月
会議の開催予定	● 支援会議(11/16)			● (支援会議)	
事務局			パブリックコメント (計画の見直し)		計画見直し
	支援会議等の意見を踏まえて修正			パブリックコメント等を踏まえて修正	